

M I A NEWSLETTER

MIA ホームページアドレス <http://www.mia-jp.net/> - 2008年10.11.12月号 -

<例会> 毎月原則第一水曜日 1:00~ティータイム 1:30~例会



例会はいつでも誰でも参加できるオープンな会です。どうぞお気軽にご参加ください。

<各委員会・同好会・活動報告> ー10月以降の行事報告(日付順)

ガレージセール 10/4(土)13:00~15:00 於)芝信用金庫藤が丘支店駐車場 参加者約70名

長い歴史をもつガレージセール、久しぶりに売り子になって、時代が変わったなあ、と肌で実感。出品数もお客も以前ほどには多くない代わりに、会員同士の和気あいあいとした雰囲気がいっぱい。

お天気に恵まれたことも幸いし、シートに座ってコージーコーナーからの出前のお菓子とミントティーでピクニック気分を味わう余裕も。ご主人様方も何人かお見えになり、奥様の働く姿を眺めてはにこにこ。荷物の搬入、搬出を手伝うご子息様も。会員の家族愛を垣間見たような…。

特筆すべきは、岡さんのご主人様!ガレージセール発足時から毎回参加の大ベテラン。今年も朝早くからいらしてシートを敷いて部員の到着を待っていてくださった。買い物上手な主婦の値切り交渉にも、あっさり屈服することなく、しかもさわやかに応対。さすが! 体力に余力を残しての終了。いいガレージセールでした。

斉藤三紀

売り上げは72,715円(献品コーナー41,050円、コージーコーナー21,020円、個人店10,645円)

桐蔭学園での日本文化紹介 10/6(月) 13:00~ New Zealandの中学生19名(男子10名女子8名、先生1名)MIA19名。寄せられたすばらしい感想文のひとつを日本語訳でご紹介しましょう。

「折り紙はパンダ、小物入れ、兜、鶴、そして一番難しい蟹の中から選んで折りました。僕たちの多くは、そのうち2つをかりうじて作ることができました。茶道では2つの和菓子を戴きました。ひとつは黄色く薄甘いもので、もうひとつはオレンジ色で粉がまぶしてあり、ゴムのような食感でした。お菓子を戴いたあとで、渋いお茶を戴きましたが、お菓子の甘味でお茶の渋みが少し中和される感じがしました。茶道のあとは和楽器を体験しました。最初は琴という楽器で、大きな筒に弦が張られていて、僕たちは3つの硬い爪を人差し指と中指と親指につけて、これを弾きました。次は尺八で、これはフルートのようなものですが、特別な吹き方で音を出すために、琴よりもさらに難しかったです。次に生け花を行いました。まっすぐに立てるものと斜めに立てるものと、2通りの生け方がありました。僕たちはバラかダリアを選んで生けましたが、主役になる花をサブジェクト(主枝)、その周りに生けるものを、オブジェクト(脇枝)と呼ぶそうです。

書道は一度書くと直すことができないので、正しく筆を運ぶのはびっくりするほど難しいと思いました。私たちの多くは、漢字を完璧に書くのは至難の技だと思いました。

最後に浴衣を着ました。琴と尺八の先生の伴奏に合わせて、僕らは「さくら」を歌い、記念写真を撮りました。ほんとうに素晴らしい経験でした。ありがとうございます。」

チャンドラ・ウィジェウエーラ



ワークショップ 10/17(金) 11:00~15:00 於)仁藤宅茶室 出席者11名

青木木米さんの赤絵の茶碗を使っての”小菊の茶会”



形から入るのも大切!とばかりに皆さんお着物など着こなして、または、すっかりシックに装って予定時間にいらっしやいました。仁藤、竹村さんのご趣向で水指は「菊から草」。タイのチエンマ

イで焼いたもの。花結界、他4本の花瓶、蔦で編んだバイオリン形花器に、1人ずつ沢山の用意された野の花の中から選んで生けていく。掛け軸は「一期一会」。香合は竹、「雲にうさぎ」。

薄茶を先ず一服ずつ頂きご希望により殆どの方が二服頂いてしまいました。

秋の味覚を盛り込んだ大皿盛りで、栗ご飯、卵焼き、幽庵焼きの鮭、糠漬、もつてのほかの菊入りの澄まし汁、菊尽くしのガラスの器に栗の渋皮煮などいずれも、何日も前から、また早朝からの手作りで、豊かな味わいのあるものでした。最後に実りの秋の水菓子。

皆が共感を持って茶を味わい、別世界を楽しみ、主人の心配りに対する客の感謝の気持ちなど、茶道の本質の一端に触れることが出来たでしょうか。

赤絵茶碗は20年前に一度お目に掛かって以来だったので、しばし手に取り旧交を温める如、眺めさせてもらいました。記憶のなかにあった彼女より美人で可愛らしいものでした。又の逢う時まで…と名残を惜しみつつ。
長谷川幸子

異文化勉強会

“日本に暮らして7年。私が見た日本と日本人” 10/18(土) 13:30~16:00 出席者 23名

講師：桐蔭学園国際交流コーディネーター Ms. Elizabeth Burris

以前、桐蔭学園に短期留学し MIA の日本文化講座に参加したこともあるエリザベスさん、当初、高いビルと古い神社、古来の伝統と流行の対比がとても興味深かったそうです。

その後ジョージタウン大学で心理学と言語学を専攻し、ICUにも1年留学。卒業後 JET プログラムで再々来日し、岐阜県庁で国際交流委員として活躍。こうした現在に至るまでのキャリアとたゆまぬ努力の集積が、正確かつ的確、見事な語法と内容に結実した、素晴らしい日本語での講演でした。ご本人の弁によれば「シャイかと思ったら意外に出たがり屋!」。自分が自分らしくいられる場として踊りがあり、よさこいの全国行脚も精力的にこなす。踊りを通して出会った人々と情熱、感動を共有し、集団の絆を大切にしている。日本の英語教育については、会話の授業なのに積極的に話そうとしない生徒(身に覚えあり)とか、受験英語重視傾向に多少の疑問符も。大高



MIA ホームサロン 11/1(土) 13:00 ~ 出席者 14名 於) 川原宅

“いざという時あわてない” —伊東さん・松坂さんのがん体験談—

今や日本人の二人に一人はがんになる。

- 1、がんは一度かかると一生の付き合い。
- 2、医者は手助けだけで、治すのは患者自身である。
- 3、病院選びの大切さ。自分にふさわしい治療は自分で選ぶ。そのために情報を集める。
- 4、がんになった体験者(がん友)の話は気持ちの上で救われる。
- 5、自分は健康と思わず健康検査を…。(お二人の話から) 辻 明子

出席者の声：貴重なお話を聞き終わって、今後なにがあっても明るく前向きに進んでいこうという勇気を頂くことができました。



MIA 京都一泊旅行 11/5(水)～6(木) 参加者 26 名



今回は新幹線を利用して京都への一泊旅行。1日目は全員で宇治観光。ボランティアガイドの説明に耳を傾け、源氏物語の古蹟、平等院などを巡りました。夕食は由緒ある中村楼。特別に、女将の案内で広大な敷地に歴史を感じさせる佇まい、美術館さながらの襖絵などを鑑賞させていただきました。宿泊は新都ホテル。2日目はエリア別に分かれて京都市内を観光し、紅葉がほんのり色づいて美しい静かな古都をそれぞれに楽しみました。午後はオープンハウスをしてくださった河崎ご夫妻のご好意で京都の町家を拝見させていただいたグループも多く、2軒がひとつに合体した、迷路か忍者屋敷かの如き複雑かつ超豪華版構造を、子供のようにはしゃぎながら探検しました。大高

異文化勉強会 11/15(土) 13:30～ 於) アルパイン 出席者 27 名

“世界 127 カ国、私の見た国々と人々” 講師：元伊藤忠商事専務取締役 理事 若林啓一氏
商社マンとして世界を舞台に縦横無尽、身の危険をも顧みず、地球を輪切りに緯度経度、巡りに巡った国がなんと 127 カ国。香港とハノイが同じ緯度ってご存知でしたか？「香港は南、ハノイは北」という我々の固定観念を打破するところから先ず始まって、一同、世界漫遊の旅にいざなわれ、世界の美味珍味(ワニの刺身、サソリの姿煮、蚊の目玉!), 美人美男国談義から住み心地、治安状況に至るまで、軽妙な語り口で聞かせていただきました。世界のニュースに接する際も、マスコミ情報を鵜呑みにせず、一面的な捉え方ではなく多面的なものの見方を!と結ばれ、さらに質問に答えて、世界の“袖の下”秘情報までご伝授。楽しい午後の貴重な情報満載世界旅でした。大高

文化探訪の会・世界の食文化共催 < 鷗外荘を訪ねて > 11/26(水) 参加者 18 名

秋晴れの朝、まず銀座で開かれている嵩、浦木、高斉さんらによる三人展におじゃましました。浦木さんの草木染めによる、やさしい色のスカーフやタペストリー、嵩さんのすばらしい書、そして高斉さんの明るい水彩画、さすがに三人のハーモニーです。心豊かになり、次にグループごとに上野を散策して鷗外荘にて昼食。鷗外が最初に新婚生活をおくり、<舞姫>を執筆した邸宅で水月ホテルの中に保存されています。緑豊かな庭を眺めながら懐石料理をゆっくり味わいました。

ここで解散となりました。まだ元気な7人はさらに旧岩崎邸へ。最後に入館した私たちに丁寧に詳しく説明をしてくださったのは、警備の方と知り、びっくり。ビリヤード室の前に置かれたベンチに座り、穏やかな秋の夕日に照らされた明治の洋館は何ともいい景色でありました。吉本洋子

ワークショップ 12/1(月) 11:00～15:00 於) 仁藤会員宅茶室 参加者 7 名

昔、母から習った洗える襦袢「うそつき」に少し改良を加えて、アンコールに込めて、教えました。1月6日に続きをします。着物の各部の名称も分からない人も居て、小学生に高校生が教えるといった風景でした。
長谷川幸子

イヤヤーエンドパーティー 12/13(土) 5:00～ 於) タウンニュース社 1F ホール 参加 114 名

恒例イヤヤーエンドパーティーは MIA 切っぴの芸術家集団のセンスが光る舞台、テーブルセッティングに、美味しそうな持ち寄りの世界各国料理が溢れんばかりに並び、大入り満員の盛況。ご馳走を存分堪能した後、MIA 日本語クラスで学ぶ留学生の歌もなかなか聞き応えがあり、お馴染みテリーさんらの先導で盛り上げムードに乗って会場一杯に熱気溢れる踊りの輪が広がりました。



—定期的な活動から—

<いけばな教室> 第2、第4火曜日 13:00~15:00 パレスビル 3F (奥山)

<日本語教室> 毎週火曜 10:30~12:00 パレスビル 3F 5~6人の生徒の中には子ども連れも。
毎週木曜 19:00~20:30 藤ヶ丘地区センター 留学生会館の学生の方々が実に
素直で、熱心に勉学に励んでいます。(門本)

<音楽> 第3木曜 10:00~12:00 小川会員宅 寛容と忍耐の小川・富田・古川 トロイカ指導
体制のもと、皆で一緒に楽しく歌っています。皆さんもどうぞご参加ください。

<ホームページ> 11/12(水)10:00~千葉さんを講師に今年最後の「よろずパソコン相談会」開催。
13名出席。各自持ち寄った疑問点を伺い目から鱗であちこち思わず歓声が上がったりも。(山内)

例会ミニスピーチ報告

月日	例会ミニスピーチ	スピーカー	内容
10/1(水)	「源氏物語」 ・私がとらえた 「宇治十帖」 	新田由美子	MIA 旅行で宇治を訪れるのにあたって新田講師にご登場願っての予習編。宇治十帖は源氏物語 54帖の最後の10帖で、舞台は京から宇治へ移り、3人のキーパーソンが登場。恋敵、薫と匂宮、そして二人の求愛の狭間で憂い揺れるヒロイン浮舟は、ついに進退窮まって入水するも助けられ、最後は出家。仏道に帰依し出家によって心の平安を得ることが理想とされた時代、余韻を残した結末の最終章「夢の浮橋」はこの世とあの世を繋ぐ夢の浮橋をシンボライズしているのではないかと。
11/12(水)	「アフリカ旅行」 	長谷川幸子 竹村美衣子 	6/20~7/1「喜望峰、ビクトリアの滝、ケニアサファリ12日間」のツアーに参加。ものすごい悪路を70キロで飛ばすサファリーカーに乗り(4回もパンク)、動物王国を巡る。朝靄煙る中、カバのお目見え、キリン家族が輪になったの朝食風景、究極のハーレム(雄1匹に雌50匹)のトムソンガゼルなど、詩情溢れる名写真の数々。哀れイボイノシシはジャッカルの餌食に。足一本を失敬してハイエナはスタコラサッサ。そうはさせじとライオンが横取り。いやはや、何処の世も生存競争は厳しいようで。

MIA これから・・・



参加しましょう！

<例会予定>

月日	例会	ミニスピーチ	担当	会場・お茶 係	書記
1/14(水)12:00~ 13:30~	新年会 例会	未定		音楽・文化探訪の会	広報
2/4(水) 13:00~	例会	未定		MIA ホームサロン ワークショップ	ガレージ セール

MIA は常時、**会員募集**しています！